

やまとえんしゅうりゅう その後の大和遠州流

ナヲのあとを継いだ娘トミは、29 年間の教職生活をやめ、茶道家元として茶道の振興に努め、札幌をはじめ全道5ヶ所に家元出張所を開くとともに、全国に9支部を設立し、茶道を全国に広めていきました。

トミのもと、教授資格者は350 名を超え、教えを受けた門下生は数知れないといえます。



昭和63年（1987）頃の様子

また、少年^{ほごし}保護司、家庭裁判所調停^{さいばんしよちやうてい}委員、民生^{みんせい}委員、
社会教育委員など、いろいろな社会活動をしており、昭和
51 年(1976)には北海道^{ほうぎ}訪希(ギリシャ)文化^{こうりゆうだん}交流団に
茶華道^{さかどう}代表として参加^{さんか}し、ギリシャ^{ほうもん}を訪問しています。



公民館^{こうみんかん}で開催^{かいさい}された茶会の集合写真

昭和52年(1977)には、長年の文化活動の功績^{こうせき}から母ナヲ^{じゅしょう}も受賞した留萌市文化賞^{しょう じゅしょう}を受賞しています。

昭和62年(1987)に、甥^{おい}で養子^{ようし}の豊^{ゆたか}(一豊^{いっぽう})に家元^{けげん}を譲り、それとともに大和遠州流^{やまとえんしゅうりゅう}の本拠^{ほんきょ}を留萌から札幌^{さっぽろ}に移^{うつ}しました。



文化賞贈呈式^{しょうぞうていしき}の蓼沼トミ^{たでぬま} (紫水^{しすい})

平成^{へいせい} 25 年(2013)には、豊^{ゆたか}(一^{いっ}豊^{ぼう})から娘^{むすめ}の望^{のぞみ}(一^{いち}望^{ぼう})に
家元^{けいしょう}が継承^{けいしょう}され、大和^{やまと}遠州^{えんしゅう}流^{りゅう}茶道^{てんどう} 21 代・静月^{せいげつ}流^{りゅう}煎茶^{せんちゃ}道^{どう} 4
代家元^{せいげつあん}静月^{せいげつ}菴^{あん}の蓼沼^{たでぬま}望^{のぞみ}がナヲ、トミ、豊^{ゆたか}が北海道^{ねづ}に根付^{ねづ}か
せた茶道^{せいしん}の精神^{しん}を引き継^ついでいます。



第 21 代家元 蓼沼^{たでぬま} 望^{のぞみ}

第 20 代家元 蓼沼^{たでぬま} 豊^{ゆたか}